

## 平成30年北海道胆振東部地震等への対応状況について

## 1 平成30年北海道胆振東部地震等への対応状況について

## (1) 経過

- ・平成30年9月6日(木)午前3時7分にマグニチュード6.7、最大震度7の地震が発生。
- ・門別競馬場が位置する日高町は震度6弱、スタンド・馬場エリアを中心に被害発生。

## (2) 被害関係(主なもの)

## 【門別競馬場の被害】

## ■ライフライン

- ①上水道 地震発生から概ね10日間断水(15日夕 復旧)
- ②電気 地震発生から2日間停電(8日午前 復旧)

## ■施設

- ①場内スタンド 観客席ガラス破損、実況室の窓落下、モニター・放送機器など故障、壁・階段の破損など
- ②馬場 第3コーナー付近で液状化現象による走路沈降、フェンスの傾き
- ③管理事務所 事務所及び各厩舎の火災報知器集中管理システムの故障
- ④厩舎エリア 各厩舎の壁・窓・扉の破損など
- ⑤業務エリア 各施設の扉・門戸・基礎・塀の破損など
- ⑥お客様エリア とねっこ広場の建物の窓破損・傾き、地盤沈下など
- ⑦住居エリア 各建物の壁・窓・給水管の破損、駐車場の地割れなど

## 【場外発売所の被害】

## ■施設

- Aiba苫小牧 壁面、天井、照明、モニターなど損傷

## (3) 発売休止関係

## 【門別競馬場】

- 地震発生の日9月6日(木)～20日(木)までに予定していた7日間を開催中止。  
※ 25日(火)から再開(25日(火)～27日(木)はデイ開催)

## 【場外発売所】

- 地震発生の日9月6日(木)～14日(金)までの9日間を間営業中止。  
※ 15日(土)から再開(施設被害を受けた門別競馬場を除く。Aiba苫小牧は払戻のみ再開)  
※ 門別競馬場場外及びAiba苫小牧の発売は22日(土)から再開

## (4) その他

## 【開催期間の延長】

- 11月13日(火)～15日(木)の3日間を追加開催し、閉幕を11月8日(木)から15日(木)に延長。

## 2 ホッカイドウ競馬に係る再発防止等の対応状況について

### (1) 経過

平成30年11月1日に実施した第15回門別競馬第3日目第11競走「第45回北海道2歳優駿(JpnⅢ)」において、1着5枠7番「ウィンターフェル」、2着2枠2番「イグナシオドーロ」と着順を確定したが、その後確認したところ、判定に誤りがあり、正しい到達順位は1位2枠2番「イグナシオドーロ」、2位5枠7番「ウィンターフェル」であったところ。

### (2) 再発防止に向けた取組み

#### 1) 決勝審判業務の体制強化

- 判定業務体制の強化を図るため、決勝審判員を2名から3名体制とするとともに、動作確認を徹底するため、決勝審判3人体制の判定マニュアルを農林水産省及び地方競馬全国協会に協議の上、作成
- 決勝審判業務に係る執務能力の向上を図るため、1月24～25日に特別区競馬組合(大井競馬場)で実地研修を実施
- 審判業務に係る人材を育成していくため、地方競馬全国協会が主催する研修に職員を派遣

#### 2) 決勝審判室と裁決室のワンフロアー化

- 的確かつ迅速な着順判定業務の実施に向け、決勝審判室と裁決室のワンフロアー化工事を31年度ホッカイドウ競馬が開幕する4月中旬までに完了させる。

#### 3) 緊急時対応マニュアルの作成

- 停電、発売機の故障、火災など、緊急事態に迅速に対応していく上から緊急時対応マニュアルを作成

#### 4) 新たな撮影カメラの設置

- 審判業務に必要な判定写真について明瞭な映像を撮影するためのカメラ増設については31年度に検討

#### 5) 再発防止に向けた総合的な点検・改善

- 競馬開催業務全般について、監督官庁である農林水産省や地方競馬全国協会の指導を受けながら、定期的に点検・改善を図るなどして、適正かつ効率的な業務運営に取り組む。

### (3) 正しい到達順位に基づく払戻金相当額の支払い状況について

- インターネットで購入した方については、各ネット事業者を通じ、平成30年12月19日に7,896万円を支払い済。

また、勝馬投票券を持っている方については、各地方競馬場、場外発売所窓口及び郵送による受付により、平成31年1月25日までに771万円を支払い済。

なお、手元に勝馬投票券がない方については、平成30年12月31日までに受付した所定の様式に購入状況の記録などの必要事項を記載した申出書を発売記録と照合し、所要の確認がとれたものについて、順次支払いを進めているところ。